

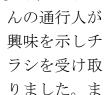
本日26日特定秘密保護法案が、衆院国家安全保障特別委員会で、自民、公明両党とみんなの党 の賛成多数で可決されました。これに対し、日本医労連は中央執行委員会後、医労連会館内の専従

者役員あわせて32名で「秘密保護法反対」 の宣伝行動を行ないました。

参加者は次々にマイクを握り、安倍首相 の改憲の動きを批判し、「国民の目と耳と 口をふさぎ、基本的人権と民主主義を破 壊する秘密保護法を廃案にしよう」「法案 のねらいはアメリカと一緒に戦争する国 づくりです」と訴えました。お昼休憩の 時間でもあり行き交う人も多く、たくさ



りました。ま





た、この宣伝行動に合わせた「秘密保護法に関するシール投票」では、 投票をしたほとんどの人が「反対」に投票しました。共同通信の世論 調査でも「反対」50.6%、「慎重審議を」82.7%となっており各界との共 闘も広がっています。「特定秘密保護法」に反対し、力を合わせて、憲 法がくらしにいかされる国民生活最優先の政治と経済、社会を実現し ていきましょう。





平和新聞より



シール投票結果

秘密保護法に

〇賛成 2

Oわからない 6

〇反対 39

